

青梅市文化財ニュース

第 6 号

昭和63年 2月22日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859)

旧調布地区とは、多摩川にかかる万年橋より下流の多摩川の両岸にひろがる地区です。この地区は、明治22年までは、千ヶ瀬・河辺・上長淵・下長淵・友田・駒木野の村々に分かれていましたが、合併により、調布村となり、さらに、昭和26年に青梅町・霞村と合併して青梅市となったところです。「調布村」と言う名称は、この地区が古くから織物産業が盛んだったことに由来します。

多摩川がこの地区の中央を東西に流れているため、橋が架けられる以前の南北の往来は、渡し船が活躍していました。万年橋の近くの大柳の渡し・調布橋の近くの友田の渡瀬の橋・河辺3丁目と長淵3丁目を結んだ河辺の渡し・多摩川橋の近くの友田の渡しなどで、河岸には当時の面影がいくらか残っています。

下の表のように、この地区には文化財がたくさんあります。表には示されていませんが、この他に長淵4丁目の寺改戸遺跡・駒木町1丁目の喜代沢遺跡・駒木町3丁目の駒木野遺跡・友田町1丁目の方砂遺跡から・千ヶ瀬1丁目のお伊勢山遺跡などの遺跡があります。出土品のうち、寺改戸遺跡から出土した注口土器は、東京都の有形文化財に指定されています。

この地区の中世の史跡として、長淵1丁目に三田館跡があります。三田氏は室町時代に青梅市一帯を支配していた豪族で、本拠地は勝沼でしたが、長淵にも館を構えていました。中世の宗教的遺物として板碑があります。玉泉寺には多摩地方で最古の様式を示す大板碑(1250年頃)など54基が保存されています。旧調布地区内には、全部で約210基の板碑が知られています。

鹿島多摩川神社は平安時代に創建されたといわれ、建御雷之男神(タケミタヅチノオノカミ)ほか三体が祭られています。友田御岳神社は室町時代に創建され、広国押武金日命(ヒロクニオシタケカナヒノハコト)ほか二体が祭られています。両神社では9月に獅子舞が奉納され、境内・獅子舞とも青梅市の文化財に指定されています。

国指定重要文化財	旧宮崎家住宅
都指定有形文化財	寺改戸遺跡出土品（博物館蔵）
都 指 定 史 跡	根岸典則墓（千ヶ瀬6—734・宗建寺内）
市 指 定 史 跡	鹿島玉川神社（長淵2丁目） 友田御岳神社（友田5丁目） 玉泉寺（長淵3丁目）
市指定有形文化財	並木家中世文書（博物館蔵） 旧宝林寺文書（博物館） 華蔵院の鰐口（友田町4丁目） 小林天淵画像（博物館蔵） 玉泉寺の青石塔婆・大応国師倚像・大般若経・鐘借用状
市指定無形文化財	友田御岳神社獅子舞（友田5丁目） 鹿島玉川神社獅子舞（長淵2丁目）
市指定天然文化財	友田の桑（友田3丁目） 社のシイノキ（千ヶ瀬町2丁目）

（文責 角田清美）